

F★★★★

ホルムアルデヒド放散等級

JPMS 28 適合品

一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント

速乾一液弱溶剤形変性エポキシさび止め塗料

ザウルスEXII

速乾性、耐久性の新次元領域

JPMS 28 適合品
一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント

速乾一液弱溶剤形変性エポキシさび止め塗料

ザウルスEXII

油性・フタル酸樹脂系さび止め塗料は、一液で取り扱いしやすく塗りやすい、しかもミネラルターペン可溶で比較的臭気も少ないなどの利点を持っています。しかし、「乾燥が遅い」「上塗塗料が限定される(強溶剤系塗料はNG)」「耐久性が悪い(反応硬化型さび止め塗料との比較)」などの問題点が指摘されてきました。速乾一液弱溶剤系変性エポキシさび止め塗料「ザウルスEXII」は、従来の油性・フタル酸樹脂系さび止め塗料の長所(脆弱な旧塗膜も侵しにくいなど)を活かし、一日に2回塗りが可能な「速乾性」であり、幅広い「素材適性」「上塗り適性」を有しています。また、環境にも配慮した鉛・クロムフリーさび止め塗料です。「ザウルスEXII」は、すぐれた耐久性と、抜群の仕上がり肌(上塗り)をお約束します。

幅広い下地適応性を有し、 一液弱溶剤タイプの使いやすい塗料です。

鉄、トタン、亜鉛メッキなどの素材や、脆弱な各種旧塗膜など幅広く塗装が出来ます。

幅広い上塗り適性と、 速乾性でスムーズな作業効率を実現します。

弱溶剤系上塗り塗料(セラMレタン、カンペ1液MレタンHG、ルーフペイント、その他OP、フタル酸など)は約4時間(23℃)で、強溶剤系上塗り塗料(アレスレタン、アレスセラレタン)は約8時間(23℃)の短いインターバルで上塗りが塗装できます。

すぐれた防錆力を持っています。

付着性にすぐれる特殊変性エポキシ樹脂を使用し、JIS K 5674 1種同等以上の優れた防食性を発揮します。

鉛・クロムフリーで 環境に配慮したやさしい塗料です。

環境にやさしい鉛・クロムフリー設計です。

抜群の美しい仕上がり肌で、 マテリアルデザインを強力にバックアップします。

平滑できめ細かな仕上がり肌。上塗塗料のつやを最大限に活かします。

防食性試験結果

塩水噴霧試験 480時間

塗装仕様	ザウルスEXII	JIS K 5625・2種
下塗り 40μm 2回塗り		
下塗り 40μm 1回塗り		

耐複合サイクル防食性試験 80サイクル

1サイクル=SST(30℃)0.5時間→WET(30℃/95%RH)1.5時間
→DRY(50℃)2時間→DRY(30℃)2時間

塗装仕様	ザウルスEXII	JIS K 5625・2種
下塗り 40μm 1回塗り		

容量

- ・赤さび色、グレー、白、淡彩色 (16kg、4kg)
- ・黒さび色 (16kg)

色

赤さび色・グレー (25-80A近似) ・白・黒さび色・淡彩色 (調色対応)

主な適用素材

注) 錆を除去し、ペーパー研磨等での目粗しを行い清浄な面とした後、塗装してください。

素材種類	内部		外部	
	塗替※1	新設	塗替※1	新設
鉄	◎	◎	◎	◎
電気亜鉛メッキ	○	○ ※2	○ ※3	△
溶融亜鉛メッキ	○	○ ※2	○ ※3	×
アルミ	○	○ ※2	○ ※3	×

◎: さび止め塗料の本来の推奨適用素材です。

○: 適用可能ですが、十分な研磨を行ってください。

△: 本施工前に試験塗装等で付着性を確認してください。

×: 不適です。

※1) 旧塗膜の付着劣化により、旧塗膜を除去した部分は素材が露出しておりますのでその部分は補修塗りを行ってください。

※2) 水廻り・高湿度環境での適用は避けてください。

※3) 経年劣化した無塗装面も含まれます。

※4) 公共建築工事標準仕様書(新設)の、亜鉛メッキ鋼面(鋼製建具等)での使用は出来ませんのでご注意ください。

主な適用上塗り塗料

セラMレタン、アレスエコレタンII、カンペ1液MレタンHG、アレスレタン(※)、アレスセラレタン(※)、セラMシリコンIII、コスモマイルドシリコンII、カンペ1液MシリコンHG、パワーホルスF4、SDホルスF4、アレスネクストIII、スーパーシリコンルーフペイント、ACルーフペイントリッチ、SDルーフペイント、アレスダイナミックTOPマイルド、アレスダイナミックTOPマイルド2液

※アレスレタン、アレスセラレタンを塗装する場合は、23℃では8時間以上、5℃では24時間以上のインターバルが必要です。

塗装条件

塗装方法	標準所要量 (kg/m ² /回)	希釈率 (%)	希釈剤
はけ	0.13	0~10	塗料用シンナーA
ローラー	0.13	0~10	
エアレススプレー	0.17	5~15	

※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。(個々の条件によって異なります)

乾燥時間・塗装間隔

項目	温度	5~10℃	23℃	30℃
	乾燥時間	指触	1時間	30分
半硬化		2時間	1時間	30分
標準塗装間隔	最短	6時間	4時間	3時間
	最長	10日	7日	7日

標準塗装仕様

弱溶剤系ウレタン仕様

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	塗装間隔 (23℃)
素地調整	劣化している塗膜はケレン工具で除去する。 さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗装面を清掃する。 素地露出部は下塗りを用いて補修塗りを行う。				
下塗り	ザウルスEXII 塗料用シンナーA	0.13	ローラー	0~10	4時間以上 7日以内
		0.17	エアレス	5~15	
上塗り (1回目)	セラMレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	ローラー	5~15	4時間以上 7日以内
		0.14	エアレス	10~30	
上塗り (2回目)	セラMレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	ローラー	5~15	-
		0.14	エアレス	10~30	

SOP仕様

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	塗装間隔 (23℃)
素地調整	劣化している塗膜はケレン工具で除去する。 さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗装面を清掃する。 素地露出部は下塗りを用いて補修塗りを行う。				
下塗り	ザウルスEXII 塗料用シンナーA	0.13	ローラー	0~10	4時間以上 7日以内
		0.17	エアレス	5~15	
上塗り (1回目)	SDホルスF4 塗料用シンナーA	0.12	ローラー	0~10	16時間以上 7日以内
		0.15	エアレス	5~15	
上塗り (2回目)	SDホルスF4 塗料用シンナーA	0.12	ローラー	0~10	-
		0.15	エアレス	5~15	

弱溶剤系アクリルシリコン仕様

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	塗装間隔 (23℃)
素地調整	劣化している塗膜はケレン工具で除去する。 さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗装面を清掃する。 素地露出部は下塗りを用いて補修塗りを行う。				
下塗り	ザウルスEXII 塗料用シンナーA	0.13	ローラー	0~10	4時間以上 7日以内
		0.17	エアレス	5~15	
中塗り	セラMシリコンIII中塗 (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	ローラー	5~15	4時間以上 7日以内
		0.14	エアレス	10~30	
上塗り	セラMシリコンIII (ベース/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	0.12	ローラー	0~10	-
		0.14	エアレス	5~10	

ルーフ用アクリルシリコン仕様

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	塗装間隔 (23℃)
素地調整	劣化している塗膜はケレン工具で除去する。 さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗装面を清掃する。 素地露出部は下塗りを用いて補修塗りを行う。				
下塗り	ザウルスEXII 塗料用シンナーA	0.13	ローラー	0~10	4時間以上 7日以内
		0.17	エアレス	5~15	
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント 塗料用シンナーA	0.11	ローラー	5~15	2時間以上 7日以内
		0.14	エアレス	5~15	
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント 塗料用シンナーA	0.11	ローラー	5~15	-
		0.14	エアレス	5~15	

施工上の注意事項

- ① 顔料沈降している場合がありますので、開缶後よくかき混ぜて中味を均一にしてください。
- ② 希釈シンナーには、必ず塗料用シンナーAを使用してください。
- ③ 塗装する際は、適切な下地処理を行ってください。
- ④ 塗膜が乾燥過程で水(降雨など)の作用を受けると白化することがあります。
この場合は、軽くサンドペーパー等で表面を研磨して表層を除去してください。
- ⑤ コンクリート・モルタルなどのアルカリ性素材への塗装は避けてください。
- ⑥ 塩ビ鋼板屋根への塗装は避けてください。
- ⑦ アレスセラマイルドグロスなどのNADアクリル形旧塗膜への適用はできません。
- ⑧ クロム酸塩処理された溶融亜鉛メッキ鋼板は塗装には適しません。
- ⑨ 新設のどぶ漬け亜鉛メッキ鋼板上への塗装は付着性、耐久性に優れた下塗り(エポマリンGXなど)をご使用ください。
- ⑩ アレスレタン・アレスセラレタンを塗装する場合、23℃では8時間以上、5℃では24時間以上のインターバルが必要です。
- ⑪ 5℃以下の低温、85%以上の高湿度、または換気が十分でなく結露が生じる場合は塗装を避けてください。
- ⑫ 没水部への適用は避けてください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。

火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防塵型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。

本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757

東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073

北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935

中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981

大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285

四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950

九州 TEL(0972)411-9901 FAX(0972)441-3339

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご諒承ください。

(23年04月25日PKO) カタログNo.217

